



第2回行政評価外部評価委員会の様子

町の仕事を総点検！！

鞍手版事業仕分け

国の予算を公開の場で議論することで、多くの国民の関心を集めた「事業仕分け」。この「事業仕分け」は、既に多くの地方公共団体でも行われており、本町においても、「外部評価」という形で、今年度からはじめて取り組むことになりました。

外部評価委員会は、外部の専門家、各種団体の推薦者、住民公募委員の7名の委員で構成され、今年度に5回の会議を行い、町の事務や事業を一つひとつ行政外部の目線で検証していくことになっています。

住民目線で評価

11月13日、第1回目の外部評価委員会が開催され、評価の手法や取組方針などについて話し合われました。11月26日には第2回目、12月18日には第3回目の会議が開催され、実際の評価作業が行なわれました。

評価作業は、①担当課からの事業説明、②事業に対する質疑応答、③評議・評価、という流れで1事業約30分で議論され、「手法改善」、「コスト縮小」など、6つの評価区分から委員が判断していきます（第2回目の評価結果は、下記の表を参照）。

評価結果の取り扱い

外部評価委員会の評価結果が最終決定ではなく、その評価結果や意見を踏まえて、町が事務や事業の方向性を検討し、予算や計画に反映させていくこととなります。

この会議は一般公開で行っており、1月には2回の会議を予定しています。

また、町のホームページにも評価結果の詳細を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

■第2回行政評価外部評価委員会の評価結果（概要）

事業名	事業目的	評価結果	評価委員の主な意見
ホームページ事業	インターネットを通じて町政情報をリアルタイムに提供する	手法改善 (6)	・コスト縮小を基本にホームページの改修に取り組むこと
リサイクル活動団体支援事業	ゴミの減量化とリサイクルによる資源の有効活用を行うため、資源回収物に奨励金を交付する	手法改善 (3) コスト縮小 (1) 休廃止 (2)	・地域性を考慮して実施方法を検討すること ・補助金の当初の目的は達成したため廃止すべき
食と農理解促進事業	農作業体験などを通じて、子どもたちに地元農産物や食に対して理解を深めてもらう	手法改善 (4) 統合 (2)	・事務の合理化を行いながら取り組むこと ・同じような事業と連携して実施すること
ふれあいフェスタ	健康と福祉の大切さを考える機会（イベント）を開催する	手法改善 (6) コスト縮小 (6) 統合 (3) ※複数選択	・集客にこだわらず、本来の事業目的を重視すべき ・他のイベントと統合すること
総合福祉センター運営事業（福祉棟）	住民に心身ともにリフレッシュしてもらう憩いの場を提供する（入浴施設を併設）	コスト縮小 (5) 休廃止 (1)	・経費を見直し、コスト縮小に取り組むこと ・財政状況を考慮すると将来的には廃止すべき

※評価結果の（ ）の数字は、委員長を除く委員6名の評価の内訳です。

※第3回目の評価結果については、次号以降に報告します。

【お問い合わせ】 役場企画財政課政策財政班 42 - 2111（内線341）

会議は傍聴できます！

会議は傍聴することができます。1月の会議予定は次のとおりです（傍聴席30席）。

○第4回外部評価委員会
とき 1月13日（水）午後1時30分から
場所 役場 議事堂

○第5回外部評価委員会
日時 1月25日（月）午後1時30分から
場所 役場 議事堂